



かねひら だいち さん/平成13年12月生まれ/津別町役場勤務

青春

くろ-ずあつぷ

兼平大地さんは、津別町で生まれ育ちました。北見北斗高校に進学し、野球部に所属していました。野球は小学3年生から続けており、ポジションはピッチャーで、北北海道大会にも出場しました。

その後、文科大学健康栄養学部管理栄養学科に進学。料理や食事が好きなことを理由に管理栄養士を志望します。大学でも野球部に所属し、全国大会出場。勉強面でも国家資格である管理栄養士に見事合格します。

卒業後は資格を活かし、食事の面で地元の方たちの健康をサポートしていきたいという思いがあり、就職時期に役場の管理栄養士の求人を見て志望しました。現在の仕事内容は、離乳食教室や集団検診の結果から食事改善のサポートを行っています。

「自分の献立や食事改善を受け、変化がみられることが嬉しいです」と語ってくれました。趣味は料理で、休日は家族に手料理を振舞っているそうで、イタリアン料理が得意だそうです。

温故知新

【550】

婦人部活動が交流の源

西山 幸子 さん



にしやま さちこ さん/昭和10年3月、大空町生まれ/89歳/達美在住

西山幸子さんは5人兄妹の末っ子として女満別町(現大空町)の稲作農家に生まれました。高校を卒業後は、家業の稲作の手伝い、青年団活動に勤しみま

夫の健さんとはその活動で出会い、上司の紹介もあって、畑作農家へ嫁ぐこととなりました。

「初めは知り合いのいな

んな幸子さんは、町や農協の活動にも積極的に参加し、徐々に交友関係を広げていきました。30歳の頃には、幸子さん発案の「若妻会」をつくりま

「若妻会」とは町内の農家へ嫁いできた女性達を集めた会で、当時は、仕事や家事に追われ、女性同士で交流する機会が少なかったため、自分と同じ境遇だった女性達を想い、交流の場をつくったそうです。

「人の気持ちがかかる人間になれ」という父の教えのを肝に銘じ、現在でも婦人部OG会の「すみれ会」に所属しており、70代から最年長95歳の方たちと交流しています。今でも続けていけるのは、孫のお嫁さんに気を使わせない配慮もありますが、一番の理由はいろいろな人とお話することが楽しいからだそうです。

現在、運転免許を返納し、買い物や「すみれ会」などに参加する際は、約5千歩を歩いて街中まで出向いています。89歳の今でも通院することなく健康に過ごしています。



津別町のごみ 2024

現在インターネットで公開中! 町のHPをご覧ください

人間が生活する上で必ず出る「ごみ」。津別町では毎年およそ1100トンものごみが出されています。津別町では有料ごみとして「燃やすごみ」「埋めるごみ」「生ごみ」「粗大ごみ」を、無料で各種資源ごみを回収しています。リサイクル率は約43% (日本のリサイクル率は20% <令和2年度> 出典:環境省)。資源ごみのリサイクルの現場では、人の手による選別が行われています。

私たちが出すごみは最終的にどうなるのか?それぞれの現場取材しました。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、ウッドルーム(大通棟)、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日ごろ更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

暮らしを支える

税

町税の納税通知書は届いていますか

4月に令和6年度固定資産税および軽自動車税種別割、6月は町道民税および国民健康保険税、介護保険料および後期高齢者医療保険料の納税通知書を発送します。なお、令和5年度から、払込取扱票にe-LQRの印字があれば、スマホやパソコンを利用して町税の支払いが可能となっています。

昨年まで納税通知書が届いていたのに、今年の分がまだ届いていない場合や、内容に疑問な点などありましたら、役場まで問合せください。

◆6月は「町道民税」「国民健康保険料」「介護保険料」「後期高齢者医療保険料」第1期の納付月です。

◆納期限は7月1日(月)です。

※口座振替をご利用の方は、引落口座の残高の確認をお願いします。

問い合わせ先
税務収納係10番窓口
☎77-8376